

# 雲の種類

# 雲の種類(10種類に分けています)

## 【上層雲:5～13km上空によく現れる】

- 巻雲(けんうん)** : 雲の中で通常は最も高い所に現れる。白く繊細で鳥の羽や細い絹糸のような繊維状の外観をもつ雲。すじ雲とも呼ばれる。温暖前線や低気圧が接近してくるときに現れる。
- 巻積雲(けんせきうん)** : とても小さな白いかたまりが規則的に並んだ雲。小石を並べたようなものやさざ波のようなものがあり、ひとつひとつの雲は離れていることが多いがつながっていることもある。うろこ雲、いわし雲とも呼ばれる。温暖前線や低気圧が接近してくるときに巻雲の次に現れる。
- 巻層雲(けんそううん)** : 淡く白っぽいベール状の雲。空の大部分をおおうことが多い。日差しを通すため、地上に物体の影をつくる。太陽や月にかかると暈(かさ:太陽や月の周りの光の輪)が現れる。低気圧や前線が近づくと現れることが多い。

## 【中層雲:2～7km上空によく現れる】

- 高積雲(こうせきうん)** : 白または灰色の小さなかたまりが比較的規則正しく並んだ雲。モザイク状、ロール状、レンズ状となる。ときには搭状となることもある。巻積雲と似ているが、違いは、現れる高さが低いことや一般に陰をもちひとつひとつの雲の大きさが巻積雲より大きい。まだら雲、ひつじ雲とも呼ばれる。
- 高層雲(こうそううん)** : 灰色または青色っぽく一様な層状の雲で、空の広範囲をおおうことが多い。薄い部分に太陽がかかると、すりガラスを通して見るようにぼんやりと太陽がわかる。厚い高層雲は雨を伴うことがある。温暖前線や低気圧が接近してくる時に巻雲、巻積雲の次に現れる雲。
- 乱層雲(らんそううん)** : 雲の底は低く灰色の厚い雲の層で、空全体をおおい太陽は完全に隠す。低気圧の中心や前線付近で発達し本格的な雨を降らせる。

【下層雲：地面付近～2kmによく現れるが、積雲や積乱雲の雲頂は中層や上層まで達することが多い】

**層積雲（そうせきうん）**：灰色または白っぽい雲で、大きなかたまり（モザイク状、丸いかたまり状、ロール状など）が集まった雲。ひとつひとつの雲は互いにくっついたり離れたりしている。雨を降らせることは少ない。

**層雲（そううん）**：雲の中では最も低いところにできる灰色の雲で霧雨を降らせることがある。地面に達すると霧となる。雲を通して太陽が見える場合、太陽の輪郭がはっきりと確認できる。

**積雲（せきうん）**：綿をちぎったような外観の雲で、一般的に密度が濃くはっきりとした輪郭をもつ。季節を問わず現れ、晴れた日に発生することが多い。太陽に照らされている部分は輝いて見えるが、雲の底は比較的暗く平らに見える。積雲が発達し雄大積雲になると頂きがカリフラワー状となり雲の底は比較的暗くなる。雄大積雲は雨を伴うことがあり、かなり強く降ることがある。

★**積乱雲（せきらんうん）**：雄大積雲が更に上方に大きく発達した密度が濃い雲。雲の底はとても暗い。雲の頂上は成層圏より高く発達することではなく、対流圏との境で水平に広がることがあり、かなとこのように見えることから、かなとこ雲と呼ばれることもある。雷雲、入道雲とも呼ばれる。集中豪雨、突風、雷、ひょうなどを引き起こす。また、竜巻が発生することもあり注意が必要である。

# 上層雲



卷雲



卷積雲



卷層雲

# 中層雲



高積雲



乱層雲



高層雲

# 下層雲



積雲



層雲



積乱雲



層積雲



# その他の珍しい雲



ひこうき雲



彩雲



航空機から見た富士山と雲海